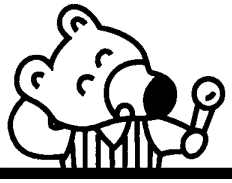
資料番号2615



カブトムシとクワガタムシはどうしてけんかするの、どっちが強いの

●動物は、えさとメスを取り合ってけんかする

動物がけんかするのは、食べ物の取り合いと、子孫を残すため、メスを取り合うときだけです（なわ張り争いも、この中に入ります）。けんかするのも、ほとんどオスです。サルやオオカミなどのように、仲間と集団でくらす動物は、ボスになりたいなど、別な理由が出てきます。しかし、たいていの動物は、生きるための食べ物を手に入れること、子孫を残すこと以外には、けんかはしません。

メスを取りっこするのは、同じ仲間どうしのときだけです。ですから、カブトムシとクワガタムシは、メスの取りっこで、けんかすることはありません。

●食べ物を取りっこしてけんかする

カブトムシとクワガタムシは、どちらも、クヌギやコナラの木の幹から出る、木のしる（樹液）が大好きです。おいしい樹液がたくさん出る木は、そんなにたくさんありません。そのため、同じ木の樹液の出る所に、いろいろな虫が集まってきます。でも、カブトムシは大きな体で強いですから、ほかの小さい虫たちをおしのけ、いちばん樹液のよく出る場所で、たっぷりしるを吸っています。ところが、クワガタムシが現れると、どちらも同じくらい大きく力も強いため、けんかになるのです。

●どっちも同じぐらいの強さ

クワガタムシの武器は大きく強いあごで、カブトムシの武器は角です。あごでかみつこうとするクワガタムシと、角で相手をひっくり返そうとするカブトムシの戦いは、そのときによって勝ち負けがちがい、どちらかがすごく強いということはありません。

（監修・中山　周平）

無断複製：転載：翻訳を禁ず Gakken